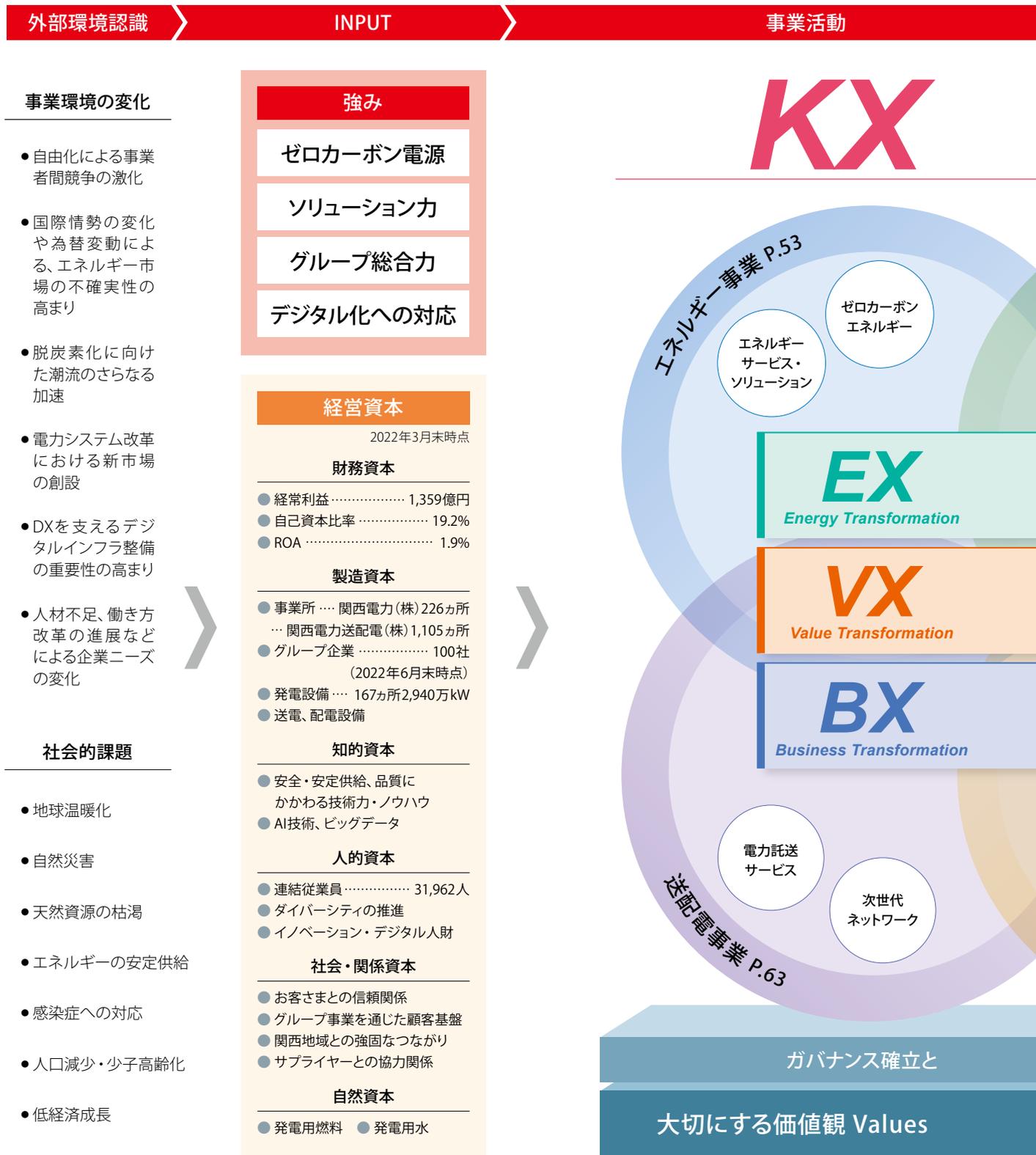


関西電力グループの価値創造プロセス

関西電力グループは、グローバルな社会課題や環境変化を的確にとらえたうえで、これまで培った強みを活かし、新たな価値をお届けすることで、当社グループが様々な社会インフラ・サービスを提供するプラットフォームの担い手として、お客さまと社会のお役に立ち続けていきます。



存在意義 Purpose

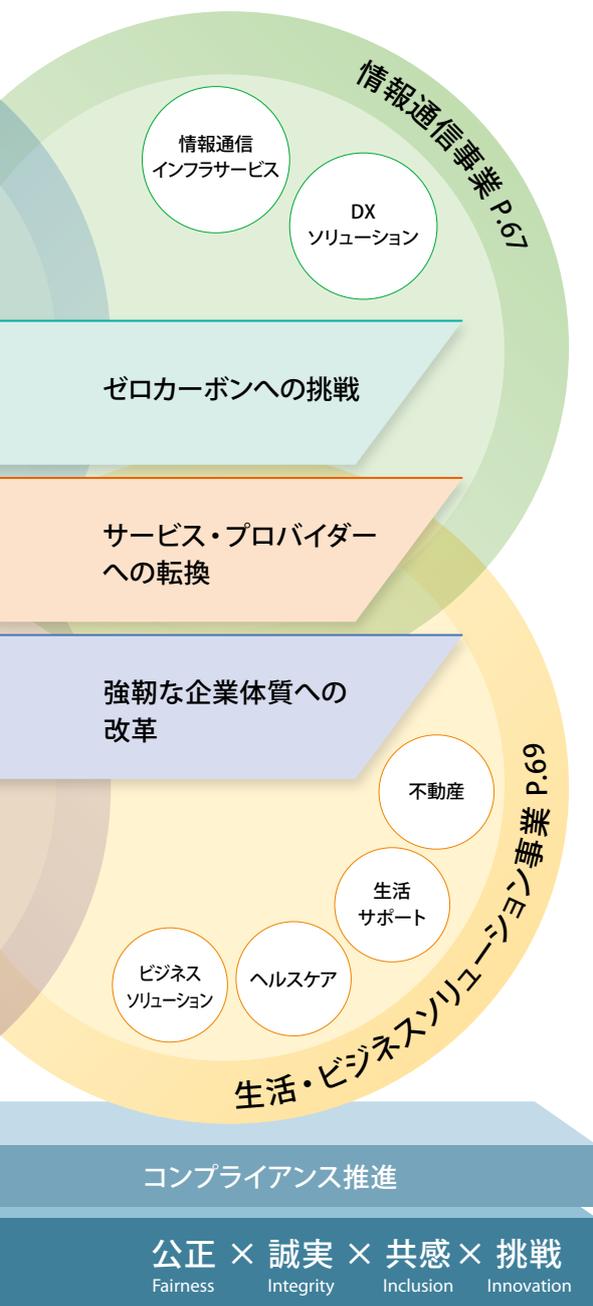
「あたりまえ」を守り、創る

Serving and Shaping the Vital Platform for a Sustainable Society

OUTPUT

OUTCOME

Kanden Transformation



2030
SDGs等の社会課題解決



2050
ゼロカーボン社会実現



ゼロカーボンビジョン2050

2025 目指す姿

様々な社会インフラ・サービスを提供するプラットフォームの担い手となり、お客さまと社会のお役に立ち続けます

経営資本

財務資本

- 経常利益 …… 2,500億円以上
- FCF …… 2,000億円以上
- 自己資本比率 …… 23%以上
- ROA …… 3.5%以上

製造資本

- 原子力7基体制の確立と運用の高度化
- 再生可能エネルギーの主力電源化 …… 国内新規開発500万kW、累計開発900万kW(～2040年)

知的資本

- ゼロカーボンの実現に向けた新たな技術 (SMR・CCUS・水素活用等)
- 社会課題解決に資するイノベーションの実現や研究開発活動の推進

人的資本

- 女性役職者比率および女性管理職者比率 …… 2030年度末までに2018年度の3倍以上
- 採用における女性比率 …… 事務系40%以上、技術系10%以上
- イノベーション・デジタル人材の育成

社会・関係資本

- 多様化するお客さまニーズの拡大に寄り添い新たな価値を提供
- ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの深化

自然資本

- ゼロカーボン発電量国内No.1
- 発電によるCO2排出量について …… 2025年度時点で半減(2013年度比)

価値創造ストーリー